



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ 週報 No. 22

2013.12.11 (No.2760)

第2560地区ガバナー／山崎 堅 輔

会長／丸山 行彦

会長エレクト／高橋 司 (クラブ奉仕A)

副会長／五十嵐晋三 (クラブ奉仕B)

幹事／船越 正夫

S A A／野崎喜一郎

会計／若槻八十彦

例会日／毎週水曜日 12:30～

例会場及び事務局／

三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内

例会場／TEL 34-3311

事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpst.plala.or.jp

<http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/>

(~はshiftを押しながら“へ”的キーを押してください)

■本日の出席会員数：56名中39名

■先々週出席率：83.33%

【ビジター】

・三条南RCより 滝口恵介さん

・米山奨学生 チャン・ナム・ソン君

【先週のメークアップ】

[12.5] 三条東RCへ

・衛藤泰男さん、中村和彦さん

[12.5] 三条ローター・アクトへ

・丸山行彦さん、高橋 司さん、

・船越正夫さん、渡辺良一さん、

・吉井直樹さん (5名)

[12.6] ウィンターフェスティバルへ

・船越正夫さん



「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」

2013～2014年度国際ロータリーのテーマ



会長挨拶

丸山行彦 会長

皆様こんにちは、ご挨拶申し上げます。

12月も中旬になり今年もあとわずかになりました。

来週はクリスマスパーティーです。昨年私は初めて孫を連れて参加しましたがサンタクロースと会えて大喜びで大興奮でした。そうとう嬉しかったのでしょう、昨年の会場の越前屋ホテルさんの前を通るたびに孫は「サンタさんのいる所だ、サンタさんのいる所だ」と何度も言っていました。今年ももうすぐサンタさんに会えるよと言うと今から大喜びです。孫の為にも毎年クリスマスパーティーに参加しないと家族から怒られそうです。

ガバナー事務所よりフィリピン台風被害支援金募集の案内が届いています。今月の27日までに送金せよとの急な要請でしたので、三役と相談しまして前回タイの洪水被害の支援金の時と同様皆様から1000円ずつお願いいたしまして送金したいと思います。ご協力よろしくお願ひ致します。

幹事報告

船越正夫 幹事

◎山崎ガバナー事務所より

「フィリピン台風被害支援金募集のお願い」

期 日 12月27日(金)まで

◎山崎ガバナー事務所より

「2014年シドニー国際大会ご参加のお誘い」

定 員 30名 ※先着順

締 切 2014年1月31日(金)

◎いからしの里より

「サンタクロース派遣のお願い」

日 時 12月24日(火) 14:00~15:00

会 場 いからしの里 デールーム

出 席 会長、幹事、社会奉仕委員

◎次週18日(水)は、夜例会「ファミリークリスマス

パーティー」です。 18:30~

ジオ・ワールドVIP

夜例会ご欠席の方は事務局で記帳をお願い致します。

ニコニコBOX

三条南RC 滝口恵介様

ボックスに協力。

今日はよろしくお願ひします。

丸山行彦さん

衛藤会員、卓話ありがとうございます。お話楽しみです。

五十嵐晋三さん

滝口さん、歓迎いたします。

衛藤さん、卓話ご苦労様です。

熊倉昌平さん

衛藤泰男さんの卓話を楽しみにしておりました。

関川 博さん

先週、仁川空港はPM2.5の霧で空港閉鎖。昨年は大雪で帰れなかった事を思い出しました。午後晴れて、帰国出来ました。

衛藤さん、卓話楽しみです。

樺山 仁さん

今週末から冬型が本格化するそうです。体調に気をつけましょう。

本日の衛藤会員の卓話に期待して！

中林順一さん

衛藤さんの卓話を楽しみにしています。よろしく！

小出子恵出さん

冬至の10日前が一番に日が短いと言われていますが、天候の悪さも手伝って本当に短いです。「土方殺すに刃物はいらぬ」の生業です。

斎藤弘文さん

忘年会が続いております。体調はすこぶる快調です。

菊池 渉さん

12月は師走というそうで、「僧侶が走り回る」程忙しいとのことですが、私のこと…？という思います。

明田川賢一さん、阿部吉弘さん、 大沼公成さん、
川瀬康裕さん、 西山徳芳さん、 金子俊郎さん、
小越憲泰さん、 木村文夫さん、 山田富義さん、
杉山幸英さん、 若槻八十彦さん、船越正夫さん、
吉井直樹さん、 米山智哉さん、 松永一義さん、
五十嵐昭一さん、会田二朗さん、 高橋 司さん、
伊藤寛一さん、 渡辺良一さん

衛藤会員、本日は卓話ありがとうございます。
お話楽しみにしております。

12月11日分 ¥ 30,000

今年度累計 ¥ 702,100

～菊池 渉会員へ委嘱状の授与～



2014-15年度 国際ロータリー第2560地区
クラブ奉仕 会員増強・拡大・活性化委員



チャン・ナム・ソン君へ奨学金の授与

卓話

「より良い道具造りへの挑戦」

衛藤泰男 会員



本日の卓話を明日川プログラム委員長より、ご指名頂きました衛藤でございます。もう少し先に延ばしてほしいとお願いしましたが、無駄な抵抗はヤメナサイと言う雰囲気でしたので、未経験なものですが一生懸命務めさせて頂きます。どうぞよろしくお願ひします。

何をどうお話し頂ければ良いかいろいろ迷った末に、やはり私が今迄に経験して来た事、又何をやって来たかについてお話しさせて頂く事が一番だと考えましたので、「より良い道具造りへの挑戦」と言うテーマを柱として進めさせて頂きます。

北海道でのメーカーセールス



私は、25才の頃ある電動工具メーカーの営業マンとして、札幌勤務を命ぜられ北海道へ赴きました。九州出身で怖さ知らずなものですから、薄い布団2枚持って着任しました。やがて冬となり雪が降って道路が氷付き、氷の上で何度も転んでコートやズボンのポケットをやぶってしまったことがあります。周囲の人は転ばないように私だけが転ぶので聞いてみると、靴の下にスベリ止めの仕掛けがあった事がわかりました。

仕事の方は、大工さん、木工業者、塗装業者が作業に使う電動工具の販売促進とアフターサービスでしたので、毎日金物店、鋸目立店、木工機械店、それに卸売りする問屋さん回りでした。たまにはその販売店様と需要家様へ売り込みセールスをする事もあります。もっと詳しく申しますと、電気カンナ、電気ミヅキリ、小型バンドリー、ルーター等の販売と修理を寒い中で行ってきました。

ある時小型の自動カンナ（材木を削りながら厚さを決める機械）を一応使ってみたいユーザーさんが居るとの情報があり、実演機を持って訪問しました。仏壇の生地を製造する木工業者だったのですが、大型木工機と比べ100Vで使えるVカッターの回転数が早いので仕上がりがきれい。この業界にピッタリ向いて居ると評価され、その延長でもう一つの加工機「手押カンナ」も必要だった事がわかり、当時の売価で合計￥400,000円ほどの販売に成功しました。

但しその後仕事の仕上がりに一ヶ所問題が起きました。材料の削り終り箇所に段差が出て深く削れてしまう、それを直してほしいとの要望でした。

それからお客様の作業場へ通う事7~8回、ギリギリの調整をするのですが、構造的に100%問題解決が出来ない事が見えて参りました。最終的に最善の調整でお客様に我慢して頂くしかなかったのですが、その努力が認められて、その後お客様の組合会合に呼ばれ、同業者の紹介を頂き10セット程の成契につながりました。

その事が本社へも伝わり、早い時期に釧路へ駐在所を開設するとの事で、釧路駐在員として抜擢してくれました。

釧路駐在員時代

- ・建築関係者は販売期失業保険を受給していた
- ・毎年10~12月は販売業者が販売を抑制する
- ・販売実績が下がり辛い営業日報の提出が続いた



釧路駐在員時代は、益々寒冷地域での生活環境の中で強力なライバルメーカーにいじめられながら販路開拓の毎日でした。冬期などはほとんど氷りの上を走り回っての営業活動でした。今もそうかも知れませんが、当時私共のお客さんである建築関係者は、冬期間失業保険を受給して居りました。仕事をするにしかられるので、マージャンかパチンコでもやるしかないと言って居りました。販売業者の方も秋口から年末迄代金の回収がむずかしくなるため、極力販売を抑制する傾向がありました。その流れで私共の営業も実績が下がり毎日辛い日報提出が続きました。マトンの冷凍品を立割りするのに電動ノコが売れたり、冷凍マグロの切断に小型木工用バンドソーが売れましたが、本来の作業目的でない事に使用するものですから、良くこわれてしまい文句を言われながら修理して対処しました。切断する肉の切端が工具に付着し時間と共にすごく強烈な腐敗臭を出します。それを吸込みながらのアフターサービスでした。

幽霊の話



担当地域が根室迄ありましたので、月に2回程巡回してたのですが、ある時期釧路根室の中間点である厚床周辺で幽霊が出るとの噂が出て居りました。タクシーの運転手さんが雨降る夜道を釧路へ向う途中、雨に濡れた女性客に止められタクシーに乗せて訓路迄帰り「お客様着きました」と言って後ろを振向くと誰もいなかったとのことです。運転手さんは青くなつて後部座席を確認したところ、座席は濡れていて人が乗った氣配があったのです。その後運転手さんは頭がおかしくなってしまったと言われて居ります。

私もその様な事を気にしながら、雨の降る夜道の国道を根室へ向かって居りました。当時まだジャリ

道で状態の悪い凹凸道を走っていたのですが、ちょうど問題の個所にさしかかったあたりで、自動車が水溜りに突込みバウンドした瞬間エンジンが停止してしまいました。慌ててセルモーターを回してもウンともスンとも言いません。これは大変な事になった。夜10時頃でまわりは真っ暗。わずかに森の黒い影が見えるくらいで人影も人家もなく車もやって来ません。ライトを消しバックミラーを見ない様にし内側からドアロックをして、しばらく思案に暮れて居りました。幽霊が出るには絶好の環境でした。もう一度セルモーターを回すと今度はエンジンがかかりました。ひやー助かった…。根室に辿り着いたのは夜中の12時前でした。

その様に怖い思いをしながら釧路で1人で頑張って参りましたが、私は酒を飲むものですから、札幌の上司がいろんな面で心配し、とにかく早く結婚する様、ほとんど命令口調でせめられました。嫁の1人位何んとかしなければと思い九州迄嫁さがしに帰ったのですが「北海道の釧路はいくら何んでも遠過ぎる」などと言われて、ションボリ釧路へ戻って来ました。結局釧路生れの現在の奥さんに嫁になってもらいましたが、この結婚がご縁で現在の三条市民とさせて頂く事となりました。

新商品とクレーム処理

新商品とクレーム処理

- ・会社のトップが、機械工具の開発に熱心だった。
- ・常に先頭に立って発表し、世間に評価をされていた。
- ・限界テストを終わらぬまま、見切り発売を行った。
- ・需要家様が使いはじめ、6ヶ月過ぎ辺りから弱点が表面化した。
- ・クレーム処理に営業担当者が大変苦労した。
- ・ライバルメーカーがその弱点をカバーしたものを発売し、大変悔しい思いをしました。

北海道でのメーカー
セールス時代は、会社
のトップが大変機械工
具の開発に熱心でした
関係で、常に新しい道
具を先頭に立って発表
し世間に評価をされて
居りました。但し、機械要素となりますとそれぞれの部材について、強度や耐磨耗性等々の限界テストが終らぬ内に見切発売するものですから、6ヶ月過ぎ位から弱点が表面化し、その後始末に、出先の各営業担当者が夜10時～11時迄毎晩その対応に追われました。

ライバルメーカーがその弱点をカバーしたものを発表して来るものですから、大変悔しい思いをさせられた経験があります。

三条市民として

その後広島県福山市、石川県金沢市など転勤ののち昭和55年家内のお父さんの事業が縁で三条市民に

させて頂きました。替刃式鋸を発表し販売代理店会を立ち上げ、本ロータリークラブ名譽会員あります高橋前市長様に会長をお願いし、叱られながら運営した事もございました。

より良い道具作りを目指して



昭和61年現在の株
ナカヤを設立し、利工
具の卸売業としてス
タートしたのですが、
卸売事業を展開する
中で、特に大工さん
の道具に関する商品テ
ーマが出て参りました。

メーカーセールス、三条での工
場勤務経験を生かし、近くのプレス加工業者と協力
しながら、スキ間商品の開発を行い、名古屋の木工機
械展に出演しました所、大手電動工具メーカー担当
者の目に止まり、OEM供給する事で成契しました。
それをきっかけに販売店様、需要家様から提案され
る道具の開発改善テーマを吟味しながら、道具造
りを進めて居ります。需要家様の作業目的をよく知り、
試作品が出来た段階で繰返し繰返し使ってもらつた
り自からが使って見たり、さらに複数の地域で再確
認し、最後は使い易くユーザー様が支払ってくれる
限界対価を念頭に、コスト削減努力を重ねながら新
商品として立上げて行く手順を踏んで居ります。

私共の会社は、商品テーマに基づき商品企画を行
い、設計、製作図面迄は自社で行います。試作や部品製
造は設備と製造技術者の居る工場さんへお願ひして完
成品の評価、市場調査は自から行い、発売に進んで行
くと言う事業展開を行って居ります。

これ迄に何点かの商品を立上げて参りましたが、
その事に気付いた取引先のお客様がより多くの情報
提供を出して頂けます。これは大変な財産なのかな
ーとの思いがあります。逆に誰かに製作をお願いし
ないと商品が完成しないと言うウイークポイントも
あわせ持つて居ります。

これから先その様な事で何とぞご支援ご指導のほ
ど切にお願い申し上げます。

最後になりましたが、この様な貴重な機会を与えて
頂きました関係者の皆様と、本ロータリークラブへ紹
介頂きました西山様へ改めて厚く御礼申し上げます。

ご静聴ありがとうございました。

次週例会 12月25日 「会員卓話」 野地貞儀 会員

次々週例会 1月 1 日 休会(元日)

